

## E218

## SDGs 検討委員会活動報告

(慶應大理工) (正)藤岡沙都子\*

## 1. 化学工学会 SDGs 検討委員会

2018年4月に設置された化学工学会 SDGs 検討委員会では、「持続可能な開発目標(SDGs)」達成に向けて化学工学が貢献できることについて産側委員と学側委員が様々な視点から議論を重ねている<sup>[1]</sup>。2019年にAPCChE2019にて発表された「札幌宣言」<sup>[2]</sup>を実行に移すべくシンポジウムやワークショップを開催している。特に年会や秋季大会では「SDGs 達成に向けた札幌宣言の実行」と題した一般公開シンポジウムを実施している。これまでに実施した活動については委員会 HP に資料とともに掲載されているのでぜひご参照いただきたい。未来の化学工場、サーキュラーエコノミー、水問題などテーマは多岐にわたり、講演だけでなく多くの学生が参加するグループ討議を行なっている。今回はその中でも特に最近の具体的な活動を紹介する。

## 2. シンポジウム

第52回秋季大会では「SDGs 達成に向けた札幌宣言の実行-安全な水への化学工学の貢献-」と題して環境部会と共催でシンポジウムを開催した。大会3日目の午後に半日かけて開催したシンポジウムのみならず、学生アシスタントを中心とする開催準備にも大きな意味があったように思う。学生はグループに分かれ講演要旨をもとに事前に予習をし、シンポジウム当日のグループ討議ではどのような議論を行いたいかを考え、「多くの人が興味を持ちシンポジウムに参加したくなるような情報発信の方法は？」について検討し Twitter や Youtube を利用して開催前にシンポジウムの案内を配信した。講演者の方々は学生アシスタントからの質問を事前に読んでいただき、当日の講演やグループ討議の中で多くの疑問に答えていただいた。シンポジウム当日は3件の講演があり、参加者はすべての人々の安全な水や衛生へのアクセスの実現のため地域により異なる社会的、経済的、環境的要因に基づく課題を認識し、解決のための取り組みの例や化学工学が貢献できる点について学んだ。続くグループ討議では「ウェルビーイングと水」「途上国での水管理」「海洋に関わる水管理」「水に対する化学工学の貢献」「国際連携とダイバーシティ」の5つのグループに分かれ議論が行われた。グループ討議のサマリーは動画と文章にて委員会 HP にて公開中<sup>[3]</sup>なのでぜひご覧いただきたい。

Fig.1 グループ討議サマリーの様子<sup>[3]</sup>

講演は聴講してもグループ討議にはハードルの高さを感じる、という参加者も少なくないかもしれないが、ぜひご参加いただき、素朴な疑問、率直な感想にもとづく議論の広がりを実感していただきたい。

## 3. ワークショップ

2021年12月には途上国でのSDGs達成への貢献をテーマにワークショップをオンライン開催した。住友化学株式会社のオリセット®ネットを通じたマラリア撲滅への支援についてご講演いただき、事業開始当初の現地での技術浸透の難しさからネットの普及によるマラリア感染者数減少までの経緯、現地での雇用創出についてもご紹介いただいた。また、東京大学農学生命科学研究科の学生のグループからは途上国での安全な水の確保に向けた水処理技術と農業生産を組み合わせた農工融合のシナリオに関する発表がなされた。先に紹介したシンポジウムでの三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)からのご講演をきっかけに始められた現在進行中のグループワークに関する発表であり、人々のウェルビーイングを向上させるために必要な技術や生活様式を含めた仕組みづくりについて活発な意見交換がなされた。ワークショップの概要も委員会 HP<sup>[4]</sup>にてご覧いただきたい。

## 4. これからの活動

SDGs の達成に向け札幌宣言を実行に移すには、化学工学会内の協力だけでなく、異分野との協調や学生、市民、社会を含む多様な視点での取り組みが欠かせない。そのためには皆でビジョンを共有することや様々な取り組みを適切に評価するための指標も必要である。委員会では「Efficiency から Sufficiency へ (#2,3)」「産業による環境・社会的課題の解決に向けた製品・サービスの供給(#12)」「ジェンダー平等(#6,7)」「新規で包摂的なアプローチを教育と研究に(#10)」「若い研究者や学生の中小企業との交流による課題解決(#15)」(#は札幌宣言の条文番号)といった目的について、取り組むべきことをログフレームの形で整理するため議論中である。「専門家ではないので」と尻込みせず皆が議論に参加でき、ひとりひとりが札幌宣言を実行する主体となれるよう、より開かれた形での情報発信に力を入れたい。

## 参考文献

[1]SDGs 検討委員会, <https://www.sdgs.scej.org/>[2]札幌宣言, <https://www.sdgs.scej.org/activity/act-03/>

[3]化学工学会第52回秋季大会 SP-3サマリー,

<https://www.sdgs.scej.org/activity/act-08/>

[4]ワークショップ開催報告,

<https://www.sdgs.scej.org/activity/act-09/>

(URL は2022/02/16参照)

\*fujioka@applc.keio.ac.jp